



# 教育研究所だより

平成30年 9月18日 発行

No.13

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向150-1

TEL 0220-22-8029(相談専用22-8125) FAX 22-9114

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>



【平成30年度】

食べ物の表示によく見られるのが「消費期限」や「賞味期限」。どちらも「この日を過ぎたら食べてはいけない」というイメージがありますが、厳密にはどう違うのでしょうか。「消費期限」は品質保証期間が製造日から5日以内の食品に付ける表示で「この日までに消費してください」という意味だそうです。弁当など日持ちしない食品に表示されているようです。「賞味期限」は「その期限まではおいしく食べられます」という表示だそうです。レトルト食品など日持ちするものに付けられているそうです。これらはどちらも未開封でのこと。開封したら1日でも早く食べきってしまう方がよいでしょう。

## 保・幼・小関連研修会



夏休みも終わりに近づいた8月23日、「保・幼・小関連研修会」が江江ふれあいセンターを会場に行われました。講師は、昨年度に引き続き、宮城教育大学教授の佐藤哲也先生です。

### <講師の佐藤哲也先生>

前半は、「発達段階に応じた保・幼・小連携の在り方」と題して講話をいただきました。休憩の後、後半はグループに分かれて情報交換をしました。

佐藤先生の講話の主な内容は以下の通りです。

- ◇ 保・幼・小接続に関して保育士・教職員に求められる職能
  - ① 幼児期と児童期の指導計画・教育課程の違い、子どもの発達や学びの現状などを理解する力
  - ② 幼児期の教育を担当する保育士・教職員は児童期の教育を見通す力、児童期の教育を担当する教員は幼児教育を見通す力
  - ③ ①②を踏まえて、現在の教育活動を構成・実践する力
  - ④ 他の教職員等や保護者との連携・接続のために必要な関係を構築する力
- ◇ 保・幼・小接続、連携の段階
 

ステップ0: 連携の予定・計画がまだない

ステップ1: 連携・接続に着手したいが、まだ検討中

ステップ2: 年数回の授業、行事、研究会などの交流  
接続に向けた教育課程の編成・実施には及んでいない

ステップ3: 交流の充実  
接続に向けた教育課程の編成・実施

ステップ4: 接続を見通して編成・実施された教育課程のさらなる検討
- ◇ 幼稚園教育において育みたい資質・能力
  - 知識及び技能の基礎  
豊かな経験を通じて、感じたり、気づいたり、分かたり、できるようになったりする
  - 思考力、判断力、表現力等の基礎  
気づいたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする
  - 学びに向かう力、人間性等  
心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする
- ◇ 幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」
  - ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性
  - ④道徳性・規範意識の芽生え
  - ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え
  - ⑦自然との関わり・生命尊重
  - ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
  - ⑨ことばによる伝え合い
  - ⑩豊かな感性と表現

※この姿は到達すべき目標ではない。



### ◇ 「10の姿」の活用について

- 個別に指導されるものではない。全ての幼児に同じように見られるものではないことに留意
- 小学校の教師と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、子どもの姿を共有するなど、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続
- 指導要録に「10の姿」が併記
  - ・証明などの原簿としての役割
  - ・指導の記録としての役割
  - ・教育課程と表裏一体の関係として機能



### ◇ カリキュラム編成の手順

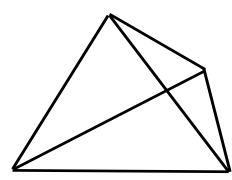
- 基本的事項の確認
  - ・要領、指針等の共通理解
  - ・互いの教育の共通点、相違点
  - ・乳幼児期、幼児期から児童期への育ちの共通理解
  - ・園、学校、地域、幼児、児童の実態把握
  - ・社会の要請、保護者の願いの把握
- 教育目標に関する共通理解
- 幼児・児童の発達の過程の見通し
- 具体的なねらいと内容の組織
- 実施結果の評価と改善
  - ・評価のための資料収集、検討・協議
  - ・課題、問題点の検討
  - ・改善に向けた工夫と提案
  - ・改善案の作成と実施



### <参加者の感想(抜粋)>

- ◇ 小学校からの参加だが、幼・保の立場に立っていろいろ考えさせられた。10の姿など小学校では聞くことができない内容であった。
- ◇ 教育要領の5領域を再度しっかり読み込み、幼児の思いを受け止めながら寄り添った保育を心がけたい。
- ◇ グループになり、保育園やこども園、小学校の先生方とワークショップができたことは、貴重な時間となった。
- ◇ 「10の姿」が具体的に説明され、理解が深まった。保・幼・小の連携の必要性が実感できたので今後に生かしていきたい。
- ◇ 小学校との連携や関わりが年間を通して少ないと感じていたため、こちらからアプローチも必要だと感じた。
- ※ もっと小学校の先生方にも参加してほしいという声が多くありました。また、開催時期についても要望がありましたので、検討していきたいと思えます。

### 頭の体操コーナー



左の図形には三角形がいくつあるかという問題で、Aさんは「8つ」と答え、Bさんは「4つ」と答えました。正しいのはどちらでしょう。理由も考えてください。

答え